

人口減少を踏まえた福岡都市圏の都市構造の今後について

福岡大学大学院工学研究科 北原 知佳

1. はじめに

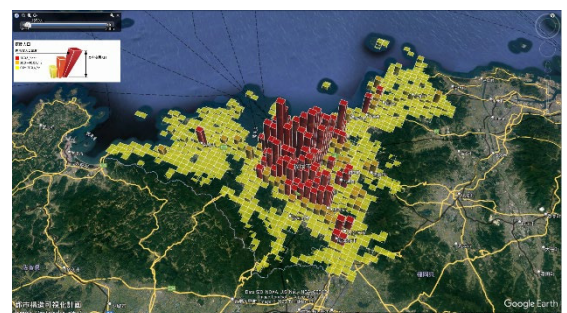
福岡市は、平成 24 年に約 25 年ぶりとなる福岡市基本構想を策定した。同時に基本構想に揚げる都市像の実現に向けた方向性を、まちづくりの目標や施策として総合的・体系的に示した 10 年間の長期計画である第 9 次福岡市基本計画(以下、基本計画)も策定している。基本計画の計画期間の満了が令和 4 年度末であったが、次期基本計画の策定に取り組むにあたって令和 5 年 2 月の市議会で議決を得て企画期間を延長している。基本計画において、都市像を「住みたい、行きたい、働きたい。アジアの交流拠点都市・福岡」とあげている。また空間構成目標のめざす姿には、「海や山に囲まれた地形的な特徴を生かし、都心部を中心に、まとまりのある空間的にコンパクトな市街地が形成され、(略)」や「福岡市の成長のエンジンである都心部を中心に、都市の成長を推進する活力創造拠点や、市民生活の核となる東部・南部・西部の広域拠点、地域拠点などに、拠点の特性に応じて多様な都市機能が集積し、市民活動の場が提供され、交通基盤のネットワークにより移動の円滑性が確保された「福岡型のコンパクトな都市」が実現しています。」とある。すなわち、福岡市は居住や観光、ビジネスすべてに力を入れつつも、利便性の高いコンパクトシティを目指すとしている。その様な中で実際に今後福岡市の都市構造がどのようなになると考えうるのか探っていきたい。

2. 福岡市の現状

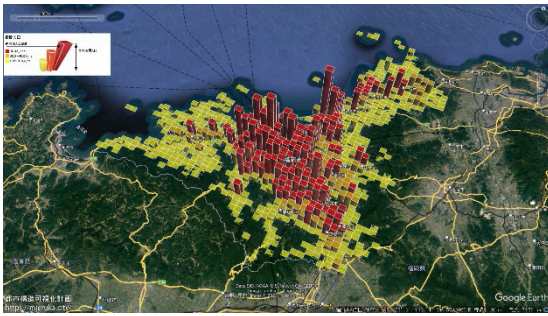
福岡市の人口は 164 万人(令和 5 年 12 月)をこえて現在も増加傾向にある。また市営地下鉄七隈線の天神・博多間の延伸も完了し、福岡空港においては滑走路を 2 本にする工事が進んでいる。さらには天神ビックバン・博多コネクテッドを通し中心市街地再開発の最中である。一方で、福岡市の現状として増加傾向にある人口も令和 17(2035)年頃にピークを迎え、減少していくと推定されている。また少子高齢化も進展しており、中心市街地の空洞化や郊外の交通が維持できないといった問題が発生する可能性が指摘できる。さらに七隈線の延伸および、なり手不足などによって西鉄バスの減便、廃線、運賃の値上げが行われており、すでに交通の便が低下してきているとも捉えられる。

3. 福岡市の人口分布および分析

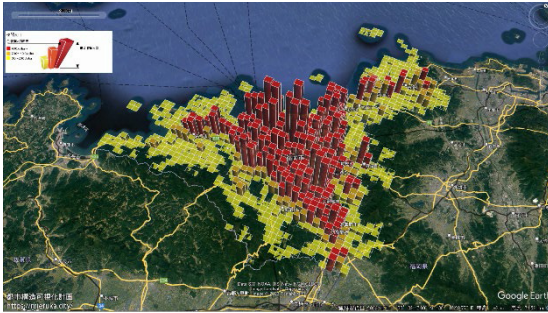
福岡都市圏の人口分布(1970~2050)について【図-1】【図-2】【図-3】【図-4】【図-5】【図-6】に示す。



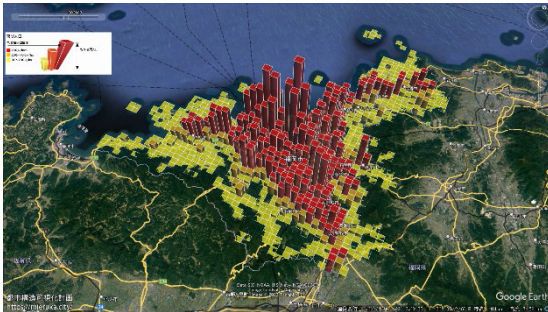
【図-1】福岡都市圏における 1970 年の人口分布



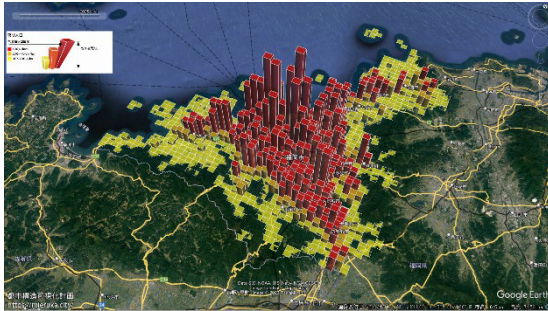
【図-2】福岡都市圏における 1990 年の人口分布



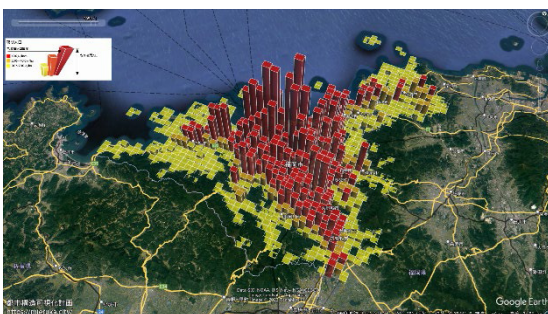
【図-3】福岡都市圏における 2010 年の人口分布



【図-4】福岡都市圏における 2020 年の人口分布



【図-5】福岡都市圏における 2035 年の人口分布



【図-6】福岡都市圏における 2050 年の人口分布

全体として福岡市内に人口が集中しており，特に博多区，中央区，城南区，早良区あたりは人口密度

が高くなっている．また西区で 2010 年以降に人口増加が顕著にみられるのは九州大学が西区に移転したためであると考えられる．一方で，郊外にあたる福津市や春日市，那珂川市は増加傾向にはあるものの大きな変化は見られない．

先にも述べたように，福岡市は現在 164 万人(令和 5 年 12 月)を超えており，ピークは令和 17(2035)年度と推定されている．このことは【図-4】【図-5】を比較すると確認することができるが，中心部の減少はわずかであると推定されていることがわかる．

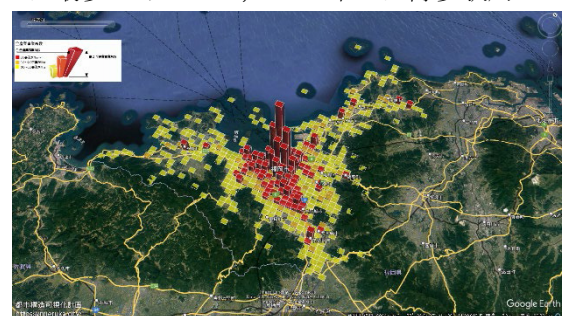
今後の推定がどのようなになるかは未知数であるが福岡市が目指す都市像，コンパクトシティが実現すれば郊外から人口が減少していくと推測できる．

また福岡都市圏は鉄道沿線を主体とした Y 字型の都市構造をしているのがわかる．

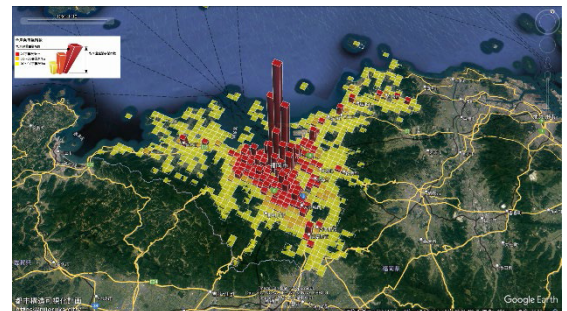
4. 福岡市の事業所数および分析

福岡市の事業所数(1975～2017)について【図-7】【図-8】【図-9】に示す．

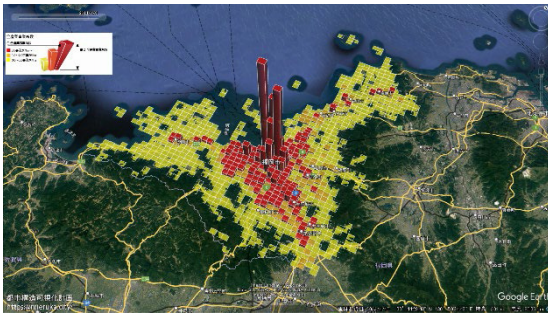
1975 年頃から 2017 年以前までは中州が事業所数としては最多であったが，2017 年には博多駅周辺



【図-7】福岡都市圏における 1975 年の事業所数



【図-8】福岡都市圏における 1990 年の事業所数



【図-9】福岡都市圏における 2017 年の事業所数

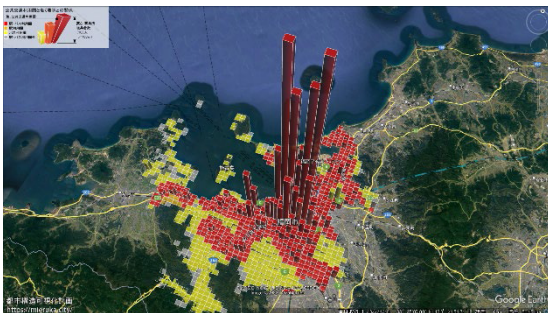
および大名が最多となっている。さらに現在進行中の天神ビックバン・博多コネクテッドにより、博多駅周辺と西鉄天神駅周辺の事業所数はさらに増加すると推測できる。

5. 公共交通機関の利用者

(1) 公共交通利用圏と働く場所について

【図-10】は公共交通利用圏と働く場所の関係を示したもので、高さが事業所従業員数(2014)で、赤色の場所は駅・バス利用圏となっている。

働いている人が多い場所は博多駅周辺および天神駅周辺となっており、公共交通を利用して通勤が可能な場所になっている。



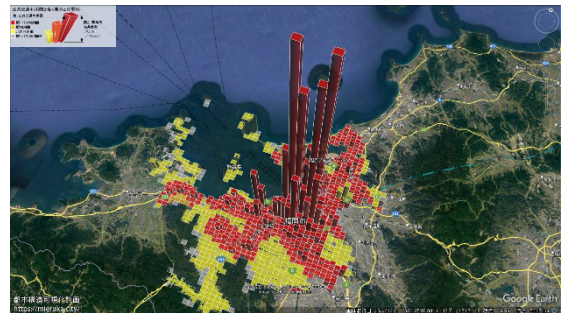
【図-10】公共交通利用圏と働く場所の関係

(2) 通勤通学に公共交通を使う人の割合

【図-11】は通勤通学に公共交通を使う人の割合(2010)を示したもので、高さは公共交通利用人口、色は赤に近づくほど利用割合が高いことを示している。

姪浜から西新と大濠公園周辺、西鉄大橋駅、南福岡駅、大野城駅の周辺が公共交通利用の割合が高く

利便性が高いことが確認できる。また令和5年の七隈線延伸に伴い、通勤通学時間帯の混雑度が高くなっていることは様々なメディアで取り上げられている。したがって七隈線沿線においても通勤通学に公共交通を利用する人が増えていることが推測できよう。ただし、実際の数値はまだ公開されていないのであくまで推察になる。

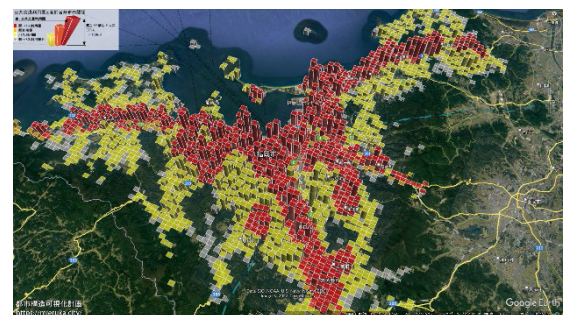


【図-11】通勤通学に公共交通を使う人の割合

(3) 公共交通利用圏と高齢者分布の関係

【図-12】は公共交通利用圏と高齢者分布の関係を示したものである。

比較的都市圏全域に分布しているが、大部分は鉄道沿線に分布している。ただし南区の鉄道がない部分に分布がみられる。



【図-12】公共交通利用圏と高齢者分布の関係

6. 西鉄グループの未来構想



西鉄グループは2022年11月10日に2035年度を目標年次とする長期ビジョン「にしていづグループまち夢ビジョン2035『濃やかに、共に、創り支える』」（以下、西鉄2035ビジョン）を策定している。

西鉄2035ビジョンでは、2035年に提供していたい価値として「サステナブルでウェルビーイングな『まち・地域』」をあげている。これによると天神地区において、自動運転やEVバス、AIロボを導入した次世代ステーション等の利便性の高い交通サービスの提供や居心地の良いオープンスペースなどの施策を行い【図-11】、鉄道バス沿線では、コンパクトな都市機能の集積とモビリティが一体となったまちづくり等の施策を行う【図-12】ことで目標を達成することとしている。

一方で、西鉄バスについては2024年問題に対応するため令和5年10月に福岡地区においても17路線の減便や運賃の値上げなどが行われている。

7. まとめ

福岡市の人口は現在164万人(令和5年12月)を超えており、ピークは令和17(2035)年度と推定されている。ピーク以降は緩やかに減少していくとみられる。また事業所は西鉄天神駅および博多駅周辺に集中しており、天神ビックバン・博多コネクテッドによりさらに集積すると考えられる。公共交通は七隈線の博多駅延伸によって西区、早良区、城南区などから博多駅へのアクセスが良好になり、通勤通学に公共交通を利用する人の増加がみられている。公共交通の必要が増す高齢者の分布は鉄道沿線に見られ、鉄道沿線でない南区にも一定数分布している。一方で、福岡市を発展させてきた西鉄バスは減便や運賃の値上げにより利便性が低下しつつあると捉えられる。

福岡市政とにしていづグループはともにコンパクトな都市の形成に注力しており、中心部や鉄道バス沿線での生活がより快適になることが期待される。このことは鉄道バス沿線以外の利便性の低下がみられることにもつながるとも捉えられるが、利便性の高い場所に移り住んでもらうことを誘発することにもなり、人口が減少していくなかで都市のスポンジ化等の問題を回避し、都市部外縁から緩やかに衰退していくことにつながるのではないだろうか。

したがって福岡市の都市構造は天神・博多を中心市街地とする現状は変わらず、鉄道バス沿線の利便性が上がることで福岡特有のY字型の都市構造のYの形がより細身になってコンパクトシティ化が進んでいくと考えられよう。

8. 総括

人口減少、少子高齢化が進む日本国において、いかに中心市街地へと都市を縮小していくかがカギを

握っているのではないかと考える。福岡市はその先進的な事例になるのではないだろうか。

参考文献

- 1) 福岡市：福岡市基本構想・第9次福岡市基本計画，<https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/kikaku/shisei/fukushikihonkosokihonkeikaku/kihonkonsoukihonkeikaku9.html>，2023.12月閲覧
- 2) 福岡市：福岡市 人口ビジョン(令和2年改訂版)，chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcgclefindmkaj/https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/74837/1/02_dai2ki_jinkoubijon_soan.pdf?20200617193548，2023.12月閲覧
- 3) 西日本鉄道株式会社：にしてつグループまち夢ビジョン 2035，<https://www.nishitetsu.co.jp/ja/ir/management/vison.html>，2023.12月閲覧
- 4) 西日本鉄道株式会社：2023年10月1日（日）一般路線バスダイヤ改正，chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcgclefindmkaj/https://www.nishitetsu.co.jp/ja/news/news20230920/main/0/link/23_051.pdf，2023.12月閲覧